

きれいに暮らす 奈良県スタイルジャーナル

Vol.1
2017 August

～きれいな大和川を目指して～

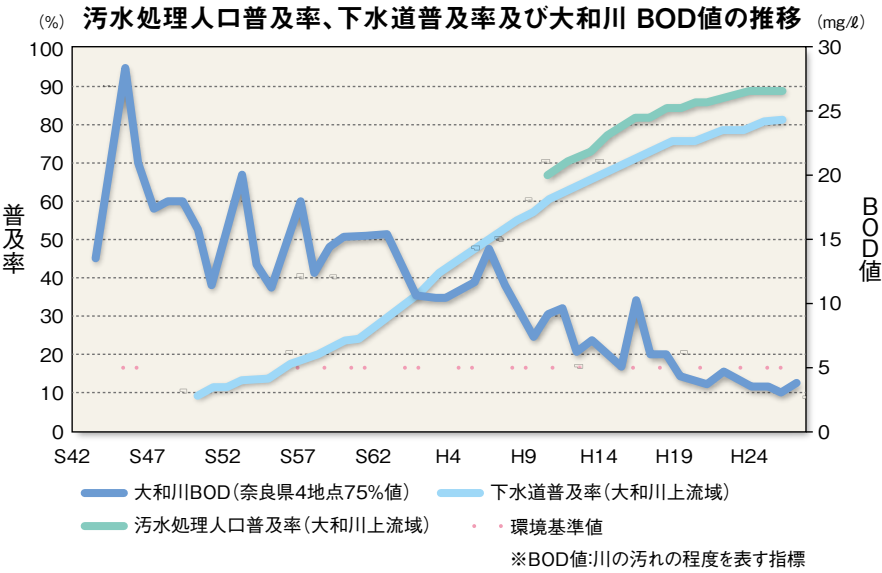


「大和川の現状」



昭和30年頃の大和川（王寺町付近）【王寺町商工会提供】

大和川は、桜井市の笠置山地を源流とし、奈良盆地から河内平野、大阪湾に注ぐ一級河川で、支川のは奈良県内157本にもものぼり、その流域には奈良県人口の約85%が集中しています。昭和30年代までは、人々が泳いだり、さまざまな魚が生息する県民の憩いの場となっていました。



しかし、高度経済成長とともに住宅地としての開発が進み、大和川流域の人口は著しく増加し、その結果、急激な都市化と産業発展に見合う排水対策が不足したことから、生活排水、工場排水等により水質が急激に悪化しました。



大和川一斉清掃(佐保川)



川辺の植栽(富雄川)

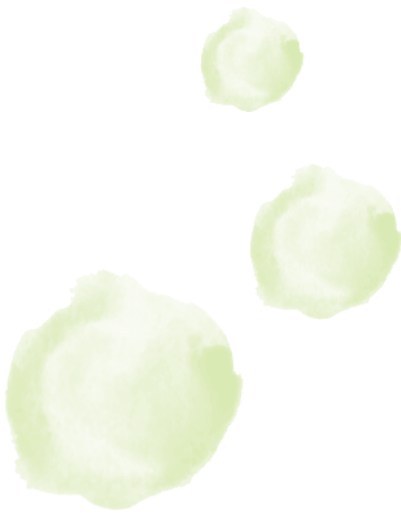
そのような状況のもと、奈良県では昭和45年度より大和川上流域下水道事業に着手し、昭和49年度の供用開始以降、大和川の水質は着実に改善され環境基準値は達成しているものの、未だ全国1級河川水質ランキングワースト上位からの脱却には至っていません。この現状を改善するため、流域の多様な主体による広域的なネットワークにより、水質の改善に一層重点的に取り組むとともに、きれいな水辺空間づくりが必要です。



手入れの行き届いた河川敷（上：秋篠川 下：大和川）



きれいな源流（飛鳥川）



現在、大和川流域では、下水道・合併浄化槽等の整備促進、地域団体等による水辺の植栽や清掃などの実践活動、さらには、「奈良県山の日・川の日」（7月第3月曜日「海の日」）関連イベントや環境教育・学習などを通じた普及啓発により、水質改善とともにきれいな水辺空間づくりが進められています。

しかし、一方で、下水道等が普及していない地域においては、生活排水等が流れ込むことにより、水質改善の進まない河川（支川）が存在しています。また、河川や河川敷へのごみの不法投棄が後を絶たず、水辺景観を損ない、地域の魅力を低下させています。

昔のように子どもたちが川で遊び、みんなの安らぎと憩いの場になるよう、もっと「きれいな」大和川を目指し、そして次世代に引き継いでいくため、県民一人ひとりが、川に「汚れ」を「流さない」「捨てない」ことを意識しながら、できることに取り組みむことが求められます。



河川敷等に散乱する「ごみの花」（大和川）



ごみがたまっている川（岡崎川）



泡立っている川（菩提川）

秋篠川をみんなが集う“いこいの川”に

秋篠川源流を愛し育てる会



写真左：桜植樹当初（平成10年11月）

写真右：秋篠川沿いの桜の風景（平成29年4月）



桜の植樹をきっかけに清掃活動がスタート

登美ヶ丘の大淵池に源流をもつ「秋篠川」。西ノ京を流れ、九条公園のあたりで佐保川へと流入するこの川は、1300年前の奈良時代には「西堀川」として資材や物資の運搬に利用されてきました。

「秋篠川源流を愛し育てる会」は、歴史ある秋篠川で20年以上も環境整備の活動が続ける市民団体です。

会の母体は、カトリック系幼稚園の保護者が集まってできたランニングクラブでした。隣近所との付き合いも少なかったお父さんたちが集まり、毎週日曜日の朝、秋篠川を走り始めたのです。

転機が訪れたのは平成8年のこと。「奈良市制100年記念」事業として、イベント企画の公募がありました。ランニング仲間とわいわいと相談していたところ、秋篠川の堤に桜を植樹するアイデアが出たのです。

当時の河原は、バイクやじゅうたんなど、不法投棄の粗大ごみが散乱しているような状況でした。

「ここに桜を植えたら走るのも気持ちいいな」「もうちょっと綺麗な川になつたらいいな」

そんな何気ない発想でしたが、見事に企画は採用され、平成10年には桜の木が植えられます。

この活動がユニークなのは、桜の植樹活動を一過性で終わらせないために「桜の里親制度」を導入したことでした。植樹したきりで雑草だらけになつたりしないように、桜の脇に里親の名札を立てて、「これは私の木だ」という意識を持ってもらうことを目指したものです。

現時点で157組の個人・団体が桜の里親に

なっており、里親になれる順番を待っている方も多数いらっしゃるそうです。

また、植樹に先立って始まった、月に一度の清掃活動「秋篠川クリーンキャンペーン」は、現在まで20年以上も続けられています。

地元の小中学生などの姿も見られるようになり、1年間で約352人が参加。135袋のごみを回収するなどの成果をあげています。



秋篠川クリーンキャンペーンの様子

「秋篠川さくら祭り」「川あそび大会」秋篠川に親しむイベントも開催

- 桜の季節に本部広場を設け、住民や子どもたちが交流を深めたり、夜桜を楽しむ「秋篠川さくら祭り」
- 子どもたちが川に入って遊び学べる「親子で川あそび大会」
- 地元小学生の「川への思い」の標語を桜の木に掲出

●秋篠川で見られる動物・植物・野鳥の看板を設置など仲間たちのちよつとした思いつきから始まった活動は、景観を美しく変えただけでなく、近隣に住む人たち、川沿いを散歩する人たちの川への関心を高めました。

しかし、会員の皆さんは気負った様子もなく、とても楽しそうに活動なさっているのが印象的でした。堤を散歩する方たちからの「ありがたう」の言葉を励みに、これからも笑顔で続けられることでしょう。

環境のため

自分たちでできることを続けよう

奈良県地域婦人団体 連絡協議会



「これよく落ちるねんで」
偶然知ったアクリルたわし

奈良県地域婦人団体連絡協議会では、会長を務めている中島祐子さんを中心に、洗剤の使用量を減らすことを目指す「アクリルたわし運動」の推進活動を続けています。

中島さんがアクリルたわしの存在を知ったのは、平

成9年のこと。「これよく落ちるねんで」と何気なく手渡され、使ってみるとその効果に驚いたのだとか。

それはちょうど大和川の水質が全国ワースト1で、「日本一汚い川」としてニュースで取り上げられていたところのことでした。アクリルたわしを普及させようと、編み物の先生らの力も借りてシンプルな編み方を考え出したのです。その活動は大きな話題となり、NHKから出演依頼があったり、遠方からも問い合わせが殺到したのです。

使用する洗剤の量を半減 生活排水をよりきれいに

アクリルたわしを使用する最大のメリットは、使用する洗剤の量を半分〜3分の1ほどまで減らせることです。

現在の汚れの約7割は「生活排水」が原因です。家庭で使用する洗剤などが川に直接流れ込んでしまわないよう、使用量を減らすことはとても重要なことです。

材料となるアクリル毛糸には、毛が混ざっていないアクリル100%のものを使うのがポイント。毛が少しでも混ざっていると食器に毛がついたり、落ち具合も劣るといいます。1玉100円ほどで購入でき、4〜5枚は編めます。1枚あたり30〜40分程度はかかりますが、作り方は簡単です。用途も幅広く、あらゆる場面で使えます。

●食器洗い ●洗車 ●風呂掃除 ●台拭き など…

2ヶ月くらいは使用できて、洗剤の購入費も減らせ、お財布にも環境にも優しいのです。また、乾きやすいため、カビや雑菌が繁殖しにくく衛生的なものも大きなメリットです。

アクリルたわしの効果

- 洗剤の量を減らせて環境にもお財布にもエコ
- 洗剤を使わなくて済むので手荒れが少なくなる
- すすぎが簡単。時間と水が節約できる
- 通気性・通水性に優れているので衛生的
- 用途に応じて使い分けるとより衛生的

川の水の回復努力のお手伝いを しませんか

環境問題に関心を持つ方は確実に増えています。が、普及のためには「どれだけ継続して作り、使ってもらえるか」が課題となります。中島さんご自身は、ご自宅でテレビを見ながら編むことが習慣となつていますが、製作する手間がかかってしまうため長続きしない方も多いのだとか。そこで、ぜひシニアの集まりなどで取り入れてほしいのと。みんなでおしゃべりしながら作れば、良いコミュニケーションになると思います。

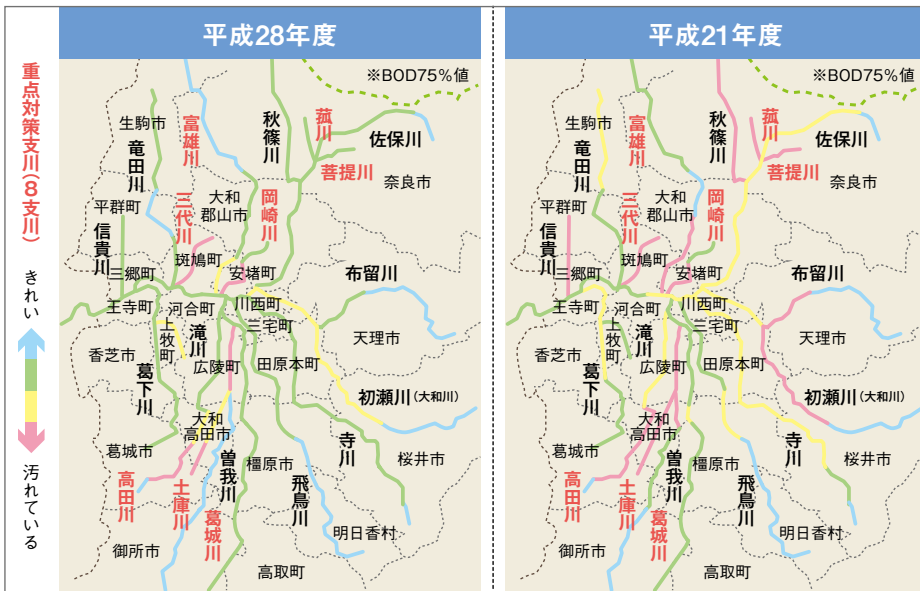
そして、食器洗いは洗剤を控えて「アクリルたわし」を使いましょう。環境のために自分たちができることを続けていきましよう。



「アクリルたわし」講習会

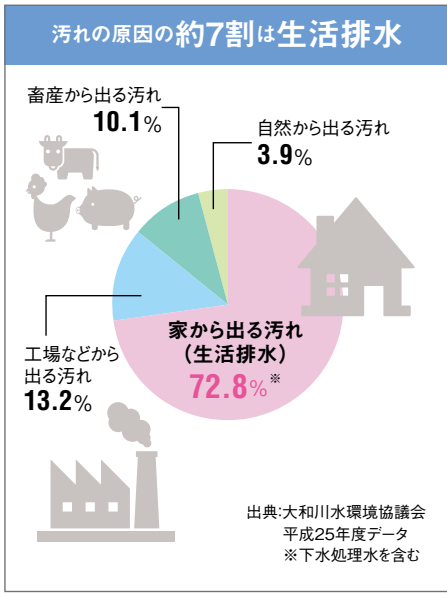
地域で取り組む「大和川」のきれい化

「きれいな奈良県」づくりを水環境からアプローチしていく「大和川のきれい化」では、「水質の全国ワースト上位ランキングからの脱却」と「きれいな水辺空間づくり」を目指し、汚水処理施設の整備・接続の促進や環境イベントの開催など普及・啓発に取り組んでいます。今回は、県・市町村等と連携・協働する大和高田・広陵地域での「大和川のきれい化」についてご紹介します。



大和川の水質の現状

大和川流域での汚水処理施設（下水道、合併浄化槽等）の普及にとれない、大和川の水質は全体的に改善傾向にあります（上図の水質マップで赤色が減っています）。しかし、大和川の本川に流れこむ支川を見ると、依然として、水質改善の遅れている区間（赤や黄色の部分）があります。大和川の汚れの原因の約7割は家庭からの生活排水です。このことから、水質改善に向けた生活スタイルへの転換が急務となっています。



「重点対策支川」での対策促進

現在、県では、「大和川のきれい化」に向け、水質改善の遅れている8支川を「重点対策支川」（上図を参照）に位置づけ、多様な主体と連携・協働しながら、汚水処理施設（下水道、合併浄化槽等）の整備・接続を促進するとともに、「川を汚さない暮らしの実践」の普及啓発に取り組んでいます。

「大和川重点対策支川部会」の設立

「重点対策支川」の「きれい化」を本格化していくため、今年度はモデル的に高田川・土庫川・葛城川を対象に、県及び流域にあたる大和高田市と広陵町をはじめ、実践活動団体等とともに「大和川重点対策支川部会」を立ち上げます。

この部会を大和高田・広陵地域における「大和川のきれい化」の推進基盤とし、3つの支川が抱える課題等を共有しながら、各主体の取組や連携方策等を「地域実践計画」としてとりまとめ、その促進とともに成果を発信・フォローアップしていきます。

■「大和川のきれい化」に向けた取組

① 水質の全国ワースト上位ランキングからの脱却

- 汚水処理施設の整備促進
⇒公共下水道の整備・接続、合併浄化槽の設置 など
- 川に「汚れ」をできるだけ流さない暮らしの普及・定着
⇒生活・事業所排水の工夫による川のきれい化 など

② きれいな水辺空間づくり

- 地域や団体等との協働で、きれいな水辺空間づくりを推進
⇒河川美化活動や環境イベントの積極的な参加 など

部会設立のキックオフ

部会設立にあたっては、まずは3つの支川に
関し、水質改善に向けた課題やその改善方法に
ついて、関係自治体とともに調査・分析・検討
を進め、情報共有を図ることが重要です。このこ
とから、今年の6月19日、県・大和高田市・広
陵町で構成する「県・市町担当課長会議」を開催
し、今後の取組方針を共有するとともに、調査方
法や部会設立までのスケジュール等について意
見交換を行いました。今後、これまでの水質測定
データや当該調査結果を踏まえながら、課題の
抽出・整理や改善取組の検討を進めるとともに、
水質改善に向けた目標設定と具体的な取組の方
策を「地域実践計画」としてとりまとめ、部会設
立に繋げていきます。



県・市町担当課長会議の開催（平成29年6月19日）

高田川・土庫川・葛城川の現状

大和高田市と広陵町には、大
和川に流れ込む支川のうち高田
川、土庫川、葛城川等が流れて
います。

中でも、大和高田市の市街地
を流れる高田川沿いでは、「高
田千本桜」と呼ばれる桜並木が
あり、毎年、3月下旬〜4月上
旬にかけて、大中公園を中心
に川の兩岸南北2.5キロメートルに
わたって見事な桜のトンネルが
続きます。



観光客で賑わう高田川沿いの「高田千本桜」（平成29年4月撮影）

奈良県を代表する桜の名所
であり、市民だけでなく、訪れる
人の心を癒やしてくれる憩いの
場所となっています。

一方、これら3つの川のBOD
D値（川の汚れの程度を表す指
標、下のグラフ参照）の変化を
見てみますと、全体的に緩やか
な低下傾向を示していますが、
依然、環境基準値を超過または
それに近い水準にあります。ま
た、水辺環境では、ごみが捨て
られたり、雑草が繁茂している
箇所も見られます（左の写真）。
このことから、高田川・土庫川・
葛城川の流域では、水質と水辺
環境の改善に向けた更なる取組
が必要となっています。



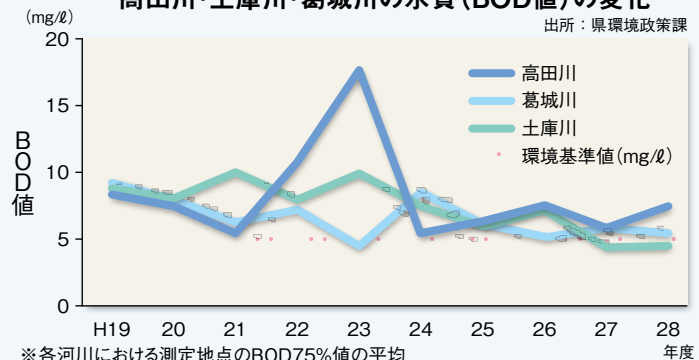
ごみがたまっている葛城川（平成29年5月撮影）



生活排水が流れ込む土庫川（平成29年5月撮影）

高田川・土庫川・葛城川の水質（BOD値）の変化

出所：県環境政策課



「地域の河川サポート事業」参加団体募集！

～河川美化活動を支援します～

「地域の河川サポート事業」とは、より良い河川空間を創出することを目的として、県が管理している河川において、草刈り・花の植栽・清掃等の活動を行っている団体に対し、報償金の支給や保険の加入等で活動を支援するものです。

3つのプログラムがあります。活動内容にあったプログラムでご参加ください！

憩いの川づくりプログラム

内容：草刈り

要件：1回の参加人数10人以上、延長100m以上、刈り取り高10cm以下

支援内容：面積に応じた報償金の支給（㎡×9円）、傷害・賠償責任保険の加入、看板の設置



彩り花つつみプログラム

内容：花の植栽・維持管理

要件：1回の参加人数3人以上

支援内容：面積に応じた報償金の支給（㎡×320円）、傷害・賠償責任保険の加入、看板の設置、花苗等の物品の支給



ボランティア支援プログラム

内容：清掃(軽微な草刈りを含む)

要件：1回の参加人数5人以上、年間1回以上、延長50m以上

支援内容：報償金の支給または、傷害・賠償責任保険の加入



詳しくは県河川課河川環境・水防係までお問い合わせください。

<お問い合わせ先> 河川課 TEL：0742-27-7504 URL：http://www.pref.nara.jp/17237.htm

浄化槽をキレイに保ちましょう！！

～あなたのおうちの浄化槽は大丈夫！？～

清掃

浄化槽にたまったごみを引き抜きます。定期的引き抜かないと十分に機能しません。



保守点検

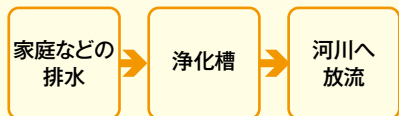


殺菌消毒などに必要な薬剤の補充や、機器などの不具合を点検します。

浄化槽の役割

家庭などから出る汚れた水をきれいにしてくれる装置です。

きれいになった水は、河川へ放流するので、浄化槽の手入れが行き届いていないと、河川がきたなくなり、魚や植物が生きていけなくなります。



法定検査

指定機関が、清掃や保守点検などの実施状況や浄化槽の機能が適正に維持されているかを総合的に検査します。

年1回の受検が法律で義務付けられています。

法定検査のお申込みはこちら 一般社団法人 奈良県環境保全協会

〒635-0095 大和高田市大中 18-4 YBBビル2F TEL：0745-22-5161 E-mail：info@nara-kankyo.or.jp



国内最大級の文化の祭典が奈良に！

全国初の一体開催！

第32回国民文化祭・なら2017
第17回全国障害者芸術・文化祭なら大会

2017年9月1日(金)～11月30日(木)

やまとしうるはし、おもしろし

国文祭
障文祭
なら2017

国文祭 なら

検索

http://nara-kokushoubun.jp/



問 国文祭・障文祭なら2017実行委員会事務局
(奈良県国民文化祭・障害者芸術文化祭課内) TEL.070-2287-3419

きれいに暮らす

奈良県スタイルジャーナル 創刊号

2017年8月発行

発行

奈良県くらし創造部 景観・環境局 環境政策課

〒630-8501 奈良市登大路町30

TEL：0742-27-8732

FAX：0742-22-1668